

平成 29 年度 第 4 回加賀市男女共同参画審議会会議録

1. 開催日時 平成 30 月 2 月 28 日(水)14 時 00 分～15 時 10 分
 2. 開催場所 加賀市役所別館 3 階 302・303 会議室
 3. 出席者 〈審議会委員〉(50 音順) 15 名中 10 名出席
新家尚子、小川邦子、尾島恭子、川場郁美、中谷健治、西田晴美、
西野和人、西山佳孝、堀口康純、松風美恵子
〈欠席委員〉(50 音順) 5 名
上野榮一、島屋早苗、平松世志子、南出由美、山野下義紀
〈委任状提出委員〉(50 音順) 2 名
〈事務局職員〉
代工市民生活部長、宮地市民生活部理事、出淵男女共同参画係長
 4. 傍聴者 1 名
 5. 議事概要 (報告) 平成 29 年度事業実績について
(議事) 平成 30 年度事業計画(案)について
 6. 開 会
- 事務局 15 名中 10 名の出席、及び欠席委員 5 名のうち 2 名から委任状の提出があり、審議会規則第 4 条 2 項に基づき審議会が成立していることを報告する。
- 会 長 <挨拶 省略>
- 事務局 只今より、平成 29 年度 第 4 回加賀市男女共同参画審議会を開催する。審議会終了後、会議録の要約版を作成し、確認のため出席委員全員に送付する。確認していただいた上で市ホームページにて公開する。以降は、審議会規則第 4 条に基づき会長に議事進行をお願いする。
- 会 長 では、次第に沿って進行していく。報告「平成 29 年度事業実績について」、事務局から説明を。
- 事務局 <平成 29 年度事業実績について説明>
- 会 長 ただいまの実績報告を受けてご意見、ご質問等はないか。
では、私から。審議会等における女性の登用状況調査の結果だが、数値の増減理由が書き添えてあると、分かりやすい。
- 事務局 次回から、数値が増減した理由が分かれば、書き添えたい。
- 委 員 審議会等の委員は、各団体からの推薦によって委嘱しているのであれば、

女性を推薦してほしいとお願いすることは可能なのか。

事務局 可能だが、推薦依頼先の団体そのものに女性が非常に少ないとか、いない団体もあるので、どうしても男性が多くなってしまっているのが現状。

委員 男女共同参画プランに掲げる、「女性登用率 40%」は達成できるのか。

事務局 目標達成は、かなり難しい。

会長 他にご意見はないか。ご意見がなければ、以上は報告であり、審議を行うものではないため、次に進む。議事「平成 30 年度事業計画（案）について」、事務局から説明を。

事務局 <平成 30 年度事業計画（案）について説明>

会長 ただいまの説明を受けてご意見、ご質問等はないか。

委員 新たに事業所向けに作成する啓発パンフレットは、事業所実態調査の対象となった事業所に配布する予定なのか。

事務局 その予定である。

委員 情報紙「い・Call」の配布先はどんなところに、何部発行しているのか。

事務局 配布先は、市内の事業所約 100 社のほかに、各地区会館、保育園、図書館、女性団体、庁内部署などで、400 部ほど発行している。

委員 今回、取材を受けて初めてこの情報紙の存在を知った。せっかく作成しているのだから、もっと多くの事業所に届けられるといいと思う。

事務局 事業所実態調査報告書のダイジェスト版を送付する際に、今後も情報提供を希望するかという意向を尋ね、希望する事業所には、「い・Call」をはじめ、事業所向けセミナー等のお知らせも届けていきたい。より多くの事業所に情報提供できるよう努める。

会長 情報発信だが、ホームページに情報を掲載していても、そのページになかなかたどり着いてもらえない、「い・Call」を置いてあっても手に取ってもらえない、というのが現状だと思う。予算の範囲内で、見てもらうための工夫が必要なのでは。ある程度の予算をかけてはいるのだから、効率的な使い方が望まれる。

事務局 少しでも多くの方に見てもらえるよう考えていきたい。

委員 まちづくり推進協議会の中に婦人会があるところが多いと思うが、その婦人会の方々にも「い・Call」を見てもらえるようにしたらどうか。

事務局 各町の婦人会すべてに配布していないが、各町の婦人会が所属する地区婦人会の会長と役員で組織する加賀市女性協議会には配っている。

- 委員 せっかく作成しているのだから、各戸配布してはどうか。
- 事務局 各戸配布するには、約 2,500 部の印刷が必要となり、予算的に厳しい。
- 委員 来年度の予算を増やすことはできないのか。
- 事務局 予算額を増やすのは難しい。お示しした計画案の中で、この事業を止め、その分、別の事業の予算に上乘せして実施することならできる。
- 会長 来年度の事業計画案を順に見ていったが、他にご意見はないか。なければ、平成 30 年度事業計画案について、承認してよろしいか。
- 一同 異議なし
- 会長 平成 30 年度事業計画案は承認された。以上をもって本日の審議を終了する。今年度の審議会は今日が最後であり、2 年の任期を終えることとなる。最後に、言い残したことや意見があれば一言ずつご発言を。
- 委員 我々の業界も女性が少ない。様々な委員への推薦依頼を受けるが、女性の有資格者を推薦してほしいと言われ、推薦した経験がある。市役所全体が、女性を求める雰囲気にならないと、女性が増えていかないのでは。
- 委員 講演会の参加者を見ると、高齢者が多い。小学校の児童など、子どもへの啓発も必要なのかなと思う。
- 委員 現役のころ、小学校へ出向いて啓発を目的とした教室を実施したことがある。私も小さい頃からの教育が必要なのではないかと思う。
- 委員 日頃お世話になっている事業所を集めて交流会をしているが、約 30 社集まる中で女性は私一人。介護職には女性の管理職は多いが、一般事業所では、まだまだ少ないと感じる。頑張っている女性であれば、男性と同等の評価や地位や報酬を得られる、そんな社会になればと思う。
- 委員 小学校高学年になると、道徳の時間等で男女共同参画を学ぶ機会があるが、低学年でも学年に応じた教育が必要なのではと感じた。加賀市の学校であるなら、加賀市のもの、人を活用した学びの機会を作れるといい。
- 委員 市民公募で委員になったが、最初は、男女共同参画についての知識もあまりなかった。小さな建設業を営んでいるが、今回の事業所実態調査の結果を見て考えさせられることも多く、意識改革しなければと思った。
- 委員 公民館連合会からの推薦で委員になったが、これまで男女共同参画を意識したことがなかった。審議会に出て、勉強させてもらった。私のいる公民館にも情報紙「い・Call」は届くが、棚に置いて誰も手を伸ばさない。今後は、見てもらうように努め、置き方を改善していきたい。

委員 年をとると、男女共同参画を頭では分かっていても実行に移すことは難しい。頭の柔らかい子ども達を教育し、子どもの口から親や祖父母に伝えてもらう。子どもが大人達を教育する方が、効果はあると思う。

委員 事業所向けに啓発する際、商工会議所でも事業主の方が集まる機会があるので、それらを利用して情報提供することも可能である。言ってもらえれば協力する。

会長 任期は終わるが、引き続き男女共同参画の推進にお力添えをいただきたい。皆さまに一言ずついただいたので、後は事務局にお任せする。

事務局 第4回の審議会はこれで閉会する。最後に市民生活部長が挨拶する。

部長 <挨拶 省略>

以上（閉会 15:10）